

四季のおたより

平岡公園町内会 NO. 2

福祉厚生部から活動のお知らせ

・平成 26 年 9 月 15 日
・平岡公園会館 ☎884-5566
清田区平岡 9 条 4 丁目 2-10

寄稿

支え合い、安心して暮らせる地域に

清田区社会福祉協議会 事務局次長 大下 和章



訪問活動の主な目的は、安否確認と孤独感の解消です。活動されている皆さんの中には、訪問され雑談をして終わり… そうした活動に意義を感じられない方もいらっしゃるかもしれませんが、「訪問先の方が変わりなく暮らしていることが確認できた」このことが、何よりも大切な役割であるということを忘れないで頂ければと思います。

見守り・訪問活動は、決して目立つ活動ではありません

んが、確実に平岡公園町内会の福祉 ～だれもが孤立することなくお互いに支え合って安心して暮らすことのできる町内会～ の大きな原動力となり、これからも広がりを見せていくはずです。

この活動の一番大切なことは継続していくことです。そのためにも決して無理をせず、これまで同様、着実に一步一步前進していただければと感じております。



車イスで避難



消防署員からアドバイスを

車イスで次々と避難、消火訓練も

8 月 28 日、町内にある小規模多機能型居宅介護施設「ごきげん平岡北」で、地震対応の避難訓練、火災対応の消火訓練が行われました。これには、協力員の新木洋子さん、山崎福祉厚生部長、武内副会長、松山防災部長らが応援に駆けつけました。

午前 10 時 30 分、避難訓練スタート。地震発生。フロアからの出火。初期消火に失敗。こうした設定で、職員らが次々と入所者の車イスを押して、1 階フロアから駐車場へと避難していきます。新木協力員も車イスを押して注意深く外へ。避難訓練

が一段落すると、次は駐車場で火災対応の消火訓練です。

この日は清田消防署から 4 人の署員が消防車両と共に来所し、約 30 分間の有意義な訓練の機会となりました。

介護施設の「避難訓練」に協力

対話の中で実感した

花を育てる豊かな心

猛暑が続いたこの夏のある日の昼下がり。B 夫人宅を女性協力員が訪問しました。庭には丹精こめて育てる草花がいっぱい。真っ赤なゼラニウムに目をやりながら、思わず「きれいですね」と一言。すると、暑さの中でも笑顔の B さんが「ゆっくり見ていってください」。

しばらく続いた会話の中で協力員さんは「B さんのような生き方が、私のこれからの模範」と思ったそうです。

家族との連携きっかけに

独居から安心の暮らしへ

高齢独居生活の男性 A さん宅へ、これまで 2 人の協力員が交互訪問してきました。

8 月のある日訪問したところ、厳しい暑さのためか日ごろのき然とした様子が見られず、体調不良なのではと感じられました。そこで関東在住のご子息あてに、近況を知らせようと電話連絡。

その直後、来札された子息は A さんの体調回復のため入院措置を。さらに医師とも相談され、ひとまずケア施設入所となりました。2 人の協力員も、これでひと安心！

見守り活動の近況

福祉厚生部より

福祉除雪利用の申し込みは 10 月 6 日まで。除雪作業を行っていただく地域協力員も募集中。詳細は「広報さっぽろ 9 月号」をご覧ください。

☆ 見守りを希望される方、見守り活動に協力いただける方を募集しております。福祉厚生部担当者までお問い合わせください。

1 区担当 谷口睦子 tel/fax : 375-7518
2 区担当 山崎純子 tel/fax : 884-3189
3 区担当 山本栄子 tel/fax : 882-6504